

株式会社マネーパートナーズグループ

東京証券取引所：プライム市場

証券コード：8732

---

2023年3月期第2四半期

# 決算説明資料

---

2022年11月4日

I. 連結決算の概況 .....	4p.-12p.
II. 当社の経営目標及び株主還元について.....	13p.-15p.
III. プライム市場の選択及び計画書取組進捗について	16p.-19p.
IV. 営業ハイライト	
IV-a 2023年3月期 Q2のマネパ .....	21p.-24p.
IV-b 2023年3月期 Q3からのマネパ .....	25p.-29p.
V. 参考資料 .....	30p.-34p.



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての

株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまといっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2022年11月4日現在において利用可能な情報に基づきなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

# I. 連結決算の概況

## 総口座数

353,153 口座

( 前四半期末比 2,523口座 増▲ )

## 取引高

3,614 億通貨単位

( 前四半期比 12.16% 減▼ )

## 営業収益

1,381 百万円

( 前四半期比 0.7% 減▼ )

## 経常利益

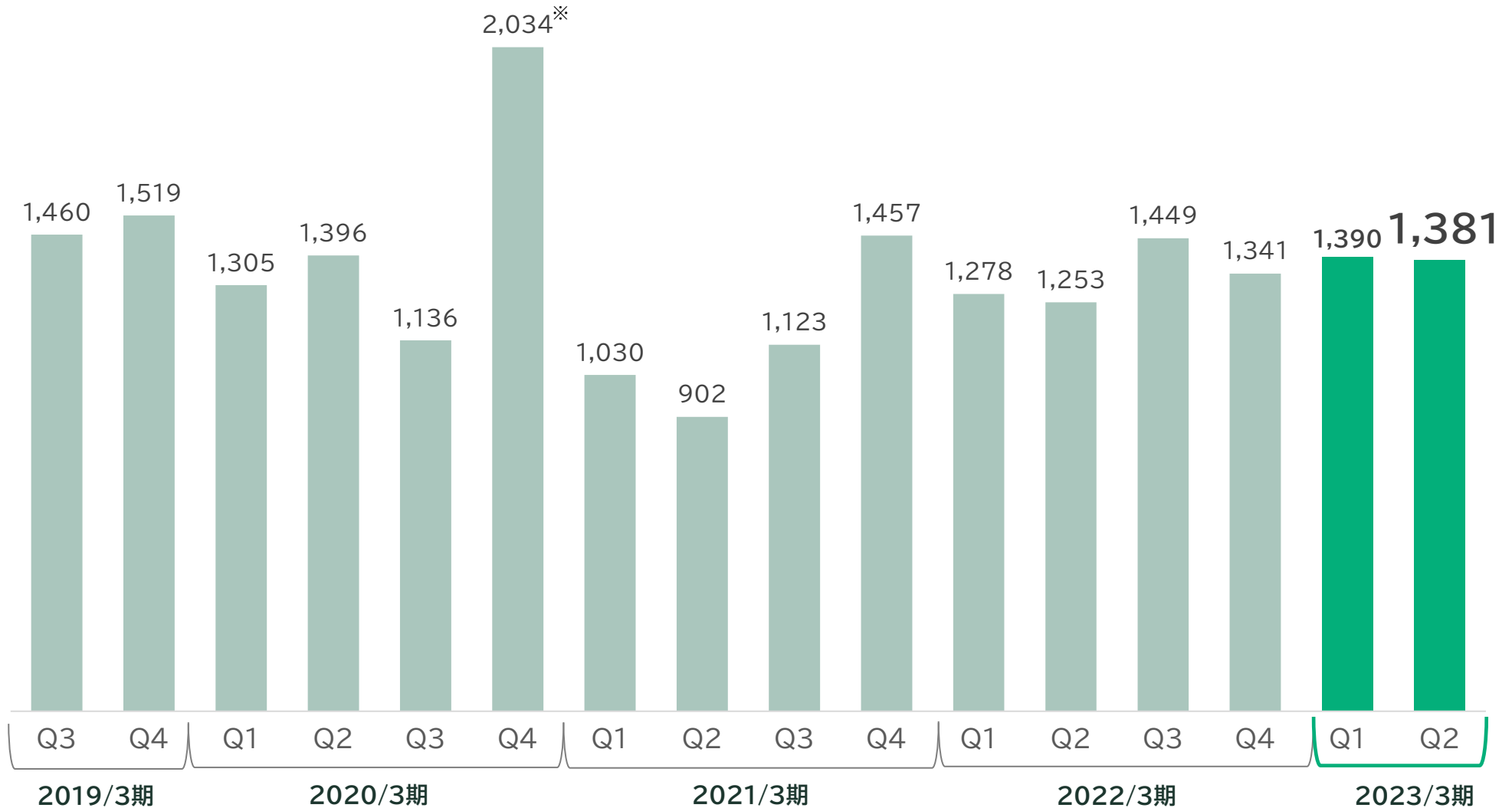
275 百万円

( 前四半期比 9.6% 減▼ )



# 四半期連結業績推移

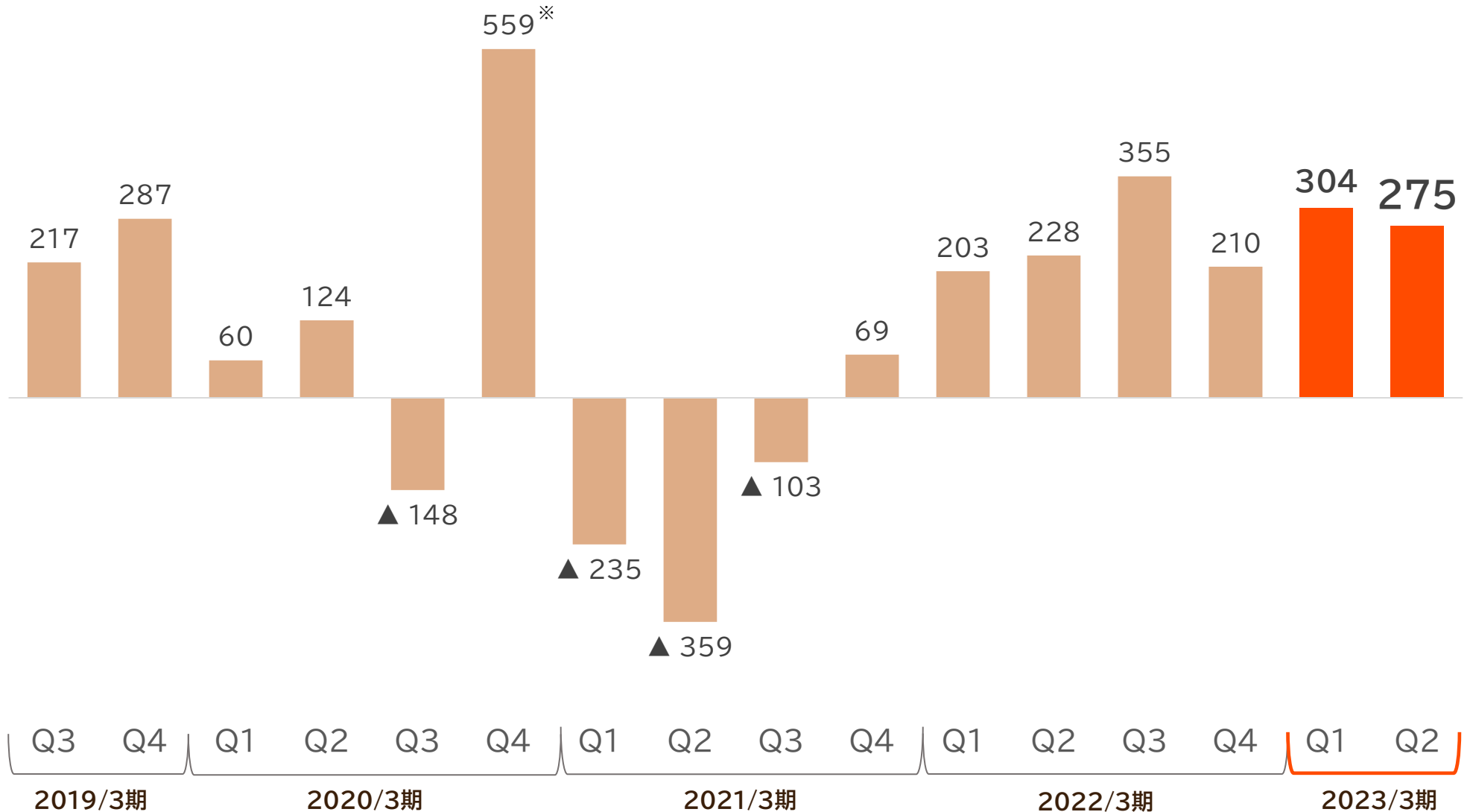
## 営業収益 (単位:百万円)





# 四半期連結業績推移

## 経常利益 (単位:百万円)

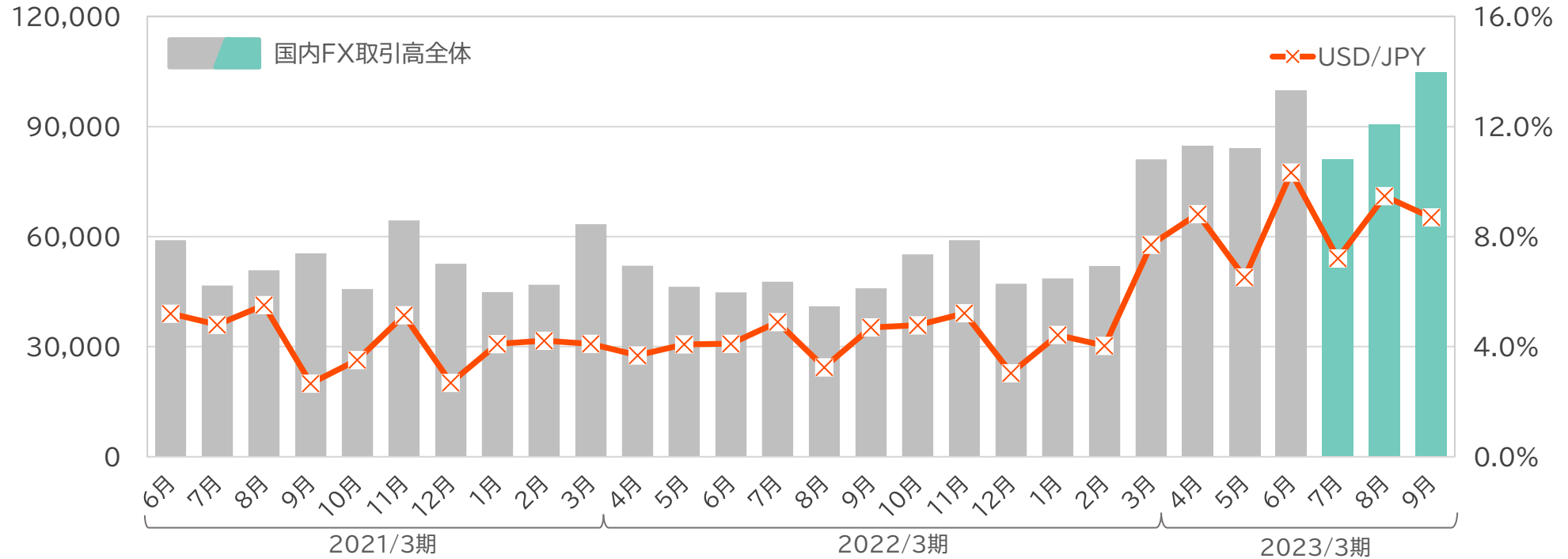


※2020年3月期Q4については、3月に新型コロナの影響を受け値幅が10円を超えるボラティルな展開となりました。その影響で営業収益は2010年5月以来である単月での10億円を超えました。

# 外国為替市場の動向

## ◇ 国内の店頭FX取引業者計49社による外国為替取引高合計及び米ドル／円のボラティリティ推移

(億通貨単位)



今四半期の外国為替相場の変動率は、継続してウクライナ情勢の影響を受けつつ、米国の利上げや日銀による市場への介入等により、前四半期に引き続き非常に高い水準になりました。それに伴い、国内FX全体の取引高は非常に高い水準で推移しております。

※ 国内の店頭FX取引業者計49社による外国為替取引高合計は金融先物取引業協会の発表する店頭FX月次速報をもとに記載しています。  
米ドル／円のボラティリティは、日々のボラティリティを月間平均した数値を使用しております。



# 2023年3月期 第2四半期(2022年7月~9月) 連結決算概況と影響ファクター

- 前四半期比決算概況 <2023年3月期 第2四半期(2022年7月~9月)と 2023年3月期 第1四半期(2022年4月~6月)の比較>

	2021/3期			2022/3期			2023/3期		前四半期 対比増減
	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	
外国為替取引高 (億通貨単位)	2,436	2,066	2,357	2,281	2,476	2,519	2,910	4,114	3,614 ▼ ▲12.2%
営業収益(百万円)	902	1,123	1,457	1,278	1,253	1,449	1,341	1,390	1,381 → ▲0.7%
経常利益(百万円)	▲359	▲103	69	203	228	355	210	304	275 → ▲9.6%

※外国為替取引高には「まいにち金・銀(CFD-Metals(差金決済取引))」、「まいにち暗号資産(暗号資産CFD(差金決済取引))」の取引高(原取引単位を米ドルに換算)を含めて表示しております。

## 損益影響ファクター

**外国為替取引高**  
前四半期比 減少 ▼

◇ 前四半期に引き続きボラティリティが非常に高い水準で推移し外国為替取引高も高水準であったものの、前四半期との比較では減少

**営業収益**  
前四半期比 同水準 →

◇ FX業界初 5通貨ペアでスプレッド0.0銭を提示する等のスプレッド縮小施策の実施やシステム関連売上の増加等により前四半期と同水準の営業収益を確保

**営業費用**  
前四半期比 増加 →

◇ 前四半期に株主総会関係費用を計上したことによる反動減があったものの、将来的なコスト削減を目的とした基幹システムのクラウド化に向けた費用の計上などが今四半期にあったことで若干増加



# 四半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2021/3期			2022/3期			2023/3期		
	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	(7月~9月)	(10月~12月)	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)
営業収益	902	1,123	1,457	1,278	1,253	1,449	1,341	1,390	<b>1,381</b>
受入手数料	9	8	10	9	11	9	8	8	<b>9</b>
トレーディング損益	851	1,045	1,362	1,211	1,193	1,397	1,258	1,344	<b>1,305</b>
金融収益	1	0	1	1	1	1	0	2	<b>5</b>
その他の売上高 <sup>※</sup>	41	68	83	56	47	40	74	36	<b>61</b>
金融費用	41	42	79	26	25	23	69	25	<b>22</b>
売上原価	25	39	47	42	32	25	48	25	<b>35</b>
純営業収益	835	1,042	1,330	1,210	1,195	1,400	1,224	1,338	<b>1,323</b>
販売費・一般管理費	1,181	1,143	1,256	1,006	997	1,053	1,016	1,031	<b>1,043</b>
営業利益	▲346	▲101	73	203	197	347	207	306	<b>280</b>
経常利益	▲359	▲103	69	203	228	355	210	304	<b>275</b>
特別利益	0	-	▲0	24	2	4	-	-	<b>-</b>
特別損失	-	189	573	-	1	1	8	-	<b>-</b>
税金等調整前四半期純利益	▲359	▲292	▲504	227	229	357	202	304	<b>275</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲332	▲292	▲202	167	199	234	134	210	<b>189</b>

※その他の売上高にはシステム関連売上高を含んでおります。



## 四半期連結販管費推移(販管費内訳及び主要費目の推移)

主な増減要因 < 2023年3月期 第2四半期(2022年7月~9月)と  
2023年3月期 第1四半期(2022年4月~6月)の比較 >

取引関係費 (減少): 広告宣伝費の費用対効果を注力したことによる減少

不動産関係費 (増加): 将来的なコスト削減のための基幹システムのクラウド化に向けた費用の計上

事務費及びその他 (減少): 前四半期の定時株主総会関係費用計上による反動減

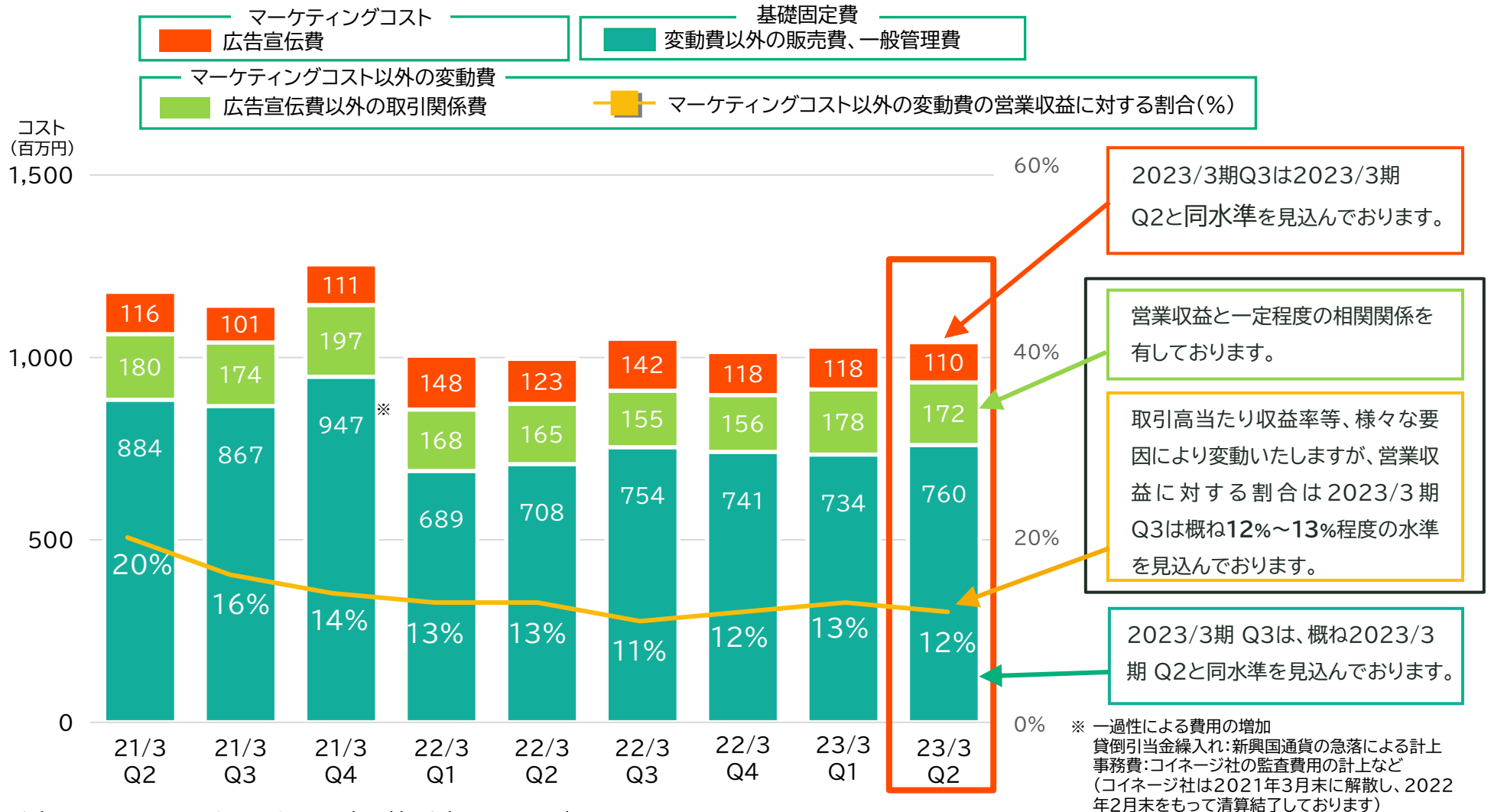
(単位:百万円)

	2021/3期			2022/3期			2023/3期		前四半期対比増減		
	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	増減額	増減率
取引関係費	297	276	309	317	289	298	274	297	282	▲15	▲5.1%
人件費	285	273	267	207	200	216	214	193	216	+22	+11.7%
不動産関係費※	163	156	166	142	132	145	154	149	178	+29	+19.7%
事務費	229	222	248	191	209	228	209	226	210	▲15	▲7.0%
減価償却費	173	173	158	135	137	134	126	119	119	▲0	▲0.6%
租税公課	15	22	12	22	25	21	23	23	24	+1	+6.9%
貸倒引当金繰入れ	▲0	▲0	74	▲26	▲6	▲1	▲1	▲0	▲1	▲0	-
その他	17	18	19	17	8	9	13	23	12	▲10	▲44.5%
販売費・一般管理費計	1,181	1,143	1,256	1,006	997	1,053	1,016	1,031	1,043	+11	+1.1%
(主要な費目)											
広告宣伝費 (取引関係費に含まれる)	116	101	111	148	123	142	118	118	110	▲8	▲7.4%

※不動産関係費には、不動産費の他、器具・備品費が含まれております。

# 四半期連結固定費、変動費推移と今後の動向

2023年3月期 第3四半期のマーケティングコストは、既存のお客様への商品訴求はもとより、**新規顧客獲得に注力、企業認知度向上**を図る施策を継続することから2023年3月期 第2四半期と**同水準**を見込んでおります。



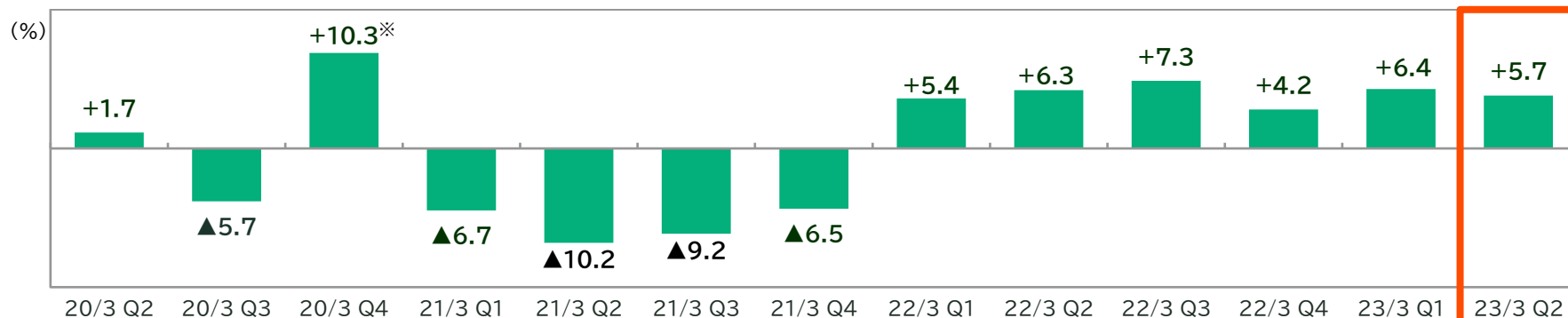
# II. 当社の経営目標 及び株主還元について



# 当社の経営目標:ROE及び営業収益経常利益率の向上

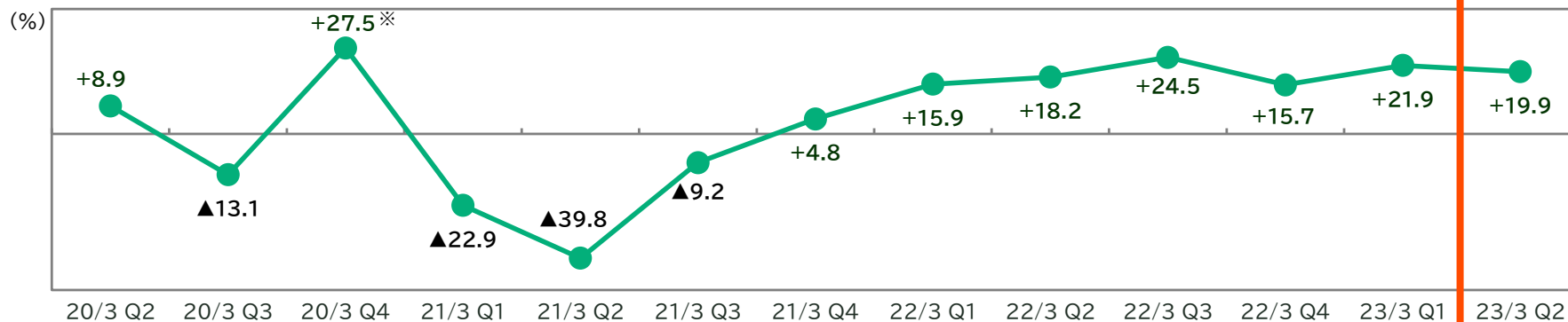
- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

## 自己資本利益率(ROE)



(注)四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
ROE(年換算) = (親会社株主に帰属する四半期純利益×4) ÷ ((四半期期首自己資本+四半期期末自己資本)÷2) × 100

## 営業収益経常利益率



※2020年3月期Q4については、3月に新型コロナの影響を受け値幅が10円を超えるポラタイトルな展開となりました。その影響で営業収益は2010年5月以来である単月での10億円を超えとなりました。



## 配当方針

### 配当性向

親会社株主に帰属する当期純利益の

**30%** を 目 途<sup>※</sup>

※配当は、配当性向の目途を30%としつつも財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定

### 配当機会

**中間及び期末** (年2回)

		2022年3月期				2023年3月期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	上段:3ヶ月 下段:累計	167	199	234	134	210	189	-	-
		167	366	601	736	210	399	-	-
配当金の総額(百万円)		122		122		122		未定	
期末発行済 株式総数(株)		33,801,900 (内、自己株式1,202,301)		33,801,900 (内、自己株式1,202,301)		33,801,900 (内、自己株式1,202,301)		-	
1株当たり 配当金	中間・期末	3.75円		3.75円		3.75円		未定	
	年間	7.5円				未定			

# Ⅲ. プライム市場の選択 及び計画書取組進捗について



# 上場維持基準の適合状況 及び 基本方針

2022年4月に行われた市場区分の見直しに関して、2021年12月に**プライム市場を選択**する申請書を提出しました。

ただし、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準への適合状況については、流通株式時価総額のみ基準を充たしていない旨の判定を受けております。

基準 / 市場	プライム市場	当社の数値
流通株式時価総額	100億円	54.4億円

(注) 2021年7月9日 付当社宛「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一時判定結果について」より引用

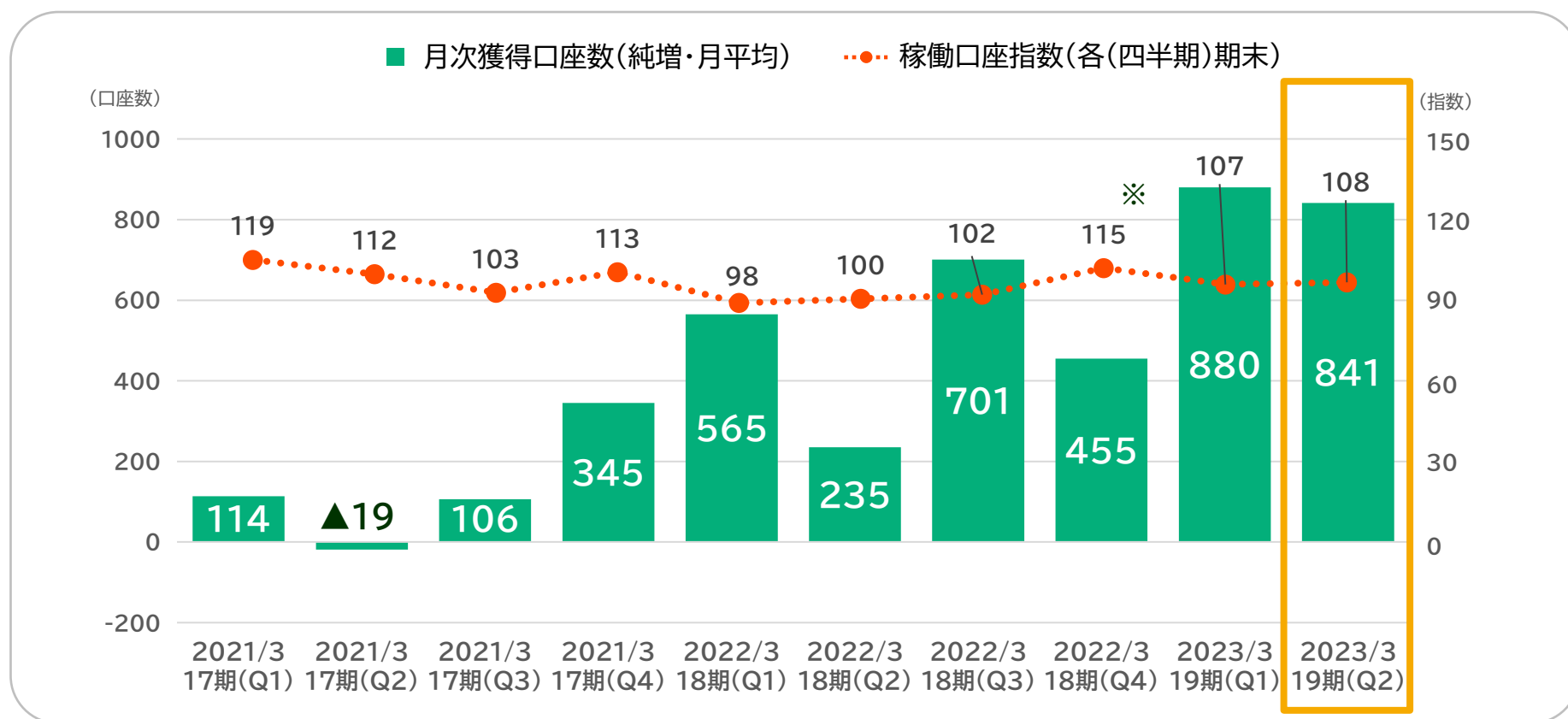
上場維持基準を充たすために必要と想定される計画期間を、**2026年3月期末まで**としております。そのため、以下の数値目標を設定し、各種取組を着実に実行してまいります。

数値目標 / 年度	2026年3月期	(ご参考)
		2023年3月期 (Q2累計実績)
ROE	8%以上	6.1%
営業収益経常利益率	20%	20.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400百万円	399百万円
EPS	42.95円	12.52円
株 価	554円	
流通株式時価総額	11,720百万円	

# ■ 主な各種取組の進捗状況

達成目標 < 2026年3月期中 >

- ◇ 月次の新規獲得口座数 **2,000**件以上(月次獲得口座数(純増ベース))
- ◇ 稼働口座数の増加(2021年9月を100とした指数で**180**以上)



※ 2月後半からのロシアのウクライナ侵攻によりマーケットのボラティリティが大きく変動し、当社FXサービスが注目を浴びたため

# ■ 主な各種取組の進捗状況

- 既に達成した課題
- ▲ 進行中の課題

課題		取組	期日	進捗
業績の向上	●	暗号資産CFDにかかるサービス開始	2021年12月6日	サービス開始
		現状のBTC、ETH、LTC、BCH/円に加え、さらなる銘柄の追加通貨を検討	2023年3月期中	検討中
	▲	将来のコスト削減に向けたシステム投資(クラウド移行等)	2023年3月期以降を予定	進行中
	▲	スマホアプリのリニューアル	2022年3月期中	さらなるUI/UXの向上とリリース後の品質管理の高度化に取組中
コーポレートガバナンスの充実	●	投資家向け決算説明会等の充実	2022年3月期末以降、コロナ禍の状況を見つつ再開	2022年5月より再開
	●	英文開示資料の拡充	2022年6月より 定時株主総会狭義の招集通知を英訳	第18回定時株主総会招集通知の英訳を実施
	●	取締役会の諮問機関として「指名、報酬委員会」を設置	2022年3月期中	2022年2月15日設置
	▲	投資家に対する情報開示の充実、IRサイトのリニューアル	2022年3月期中	更なるセキュリティ機能の強化に取組中
	●	バーチャル併用(参加型)の株主総会の実施	2022年3月期にかかる 定時株主総会より実施予定	2022年6月開催の 第18回定時株主総会にて実施

# IV. 営業ハイライト

## パートナーズFX

- ◆ 9月14日よりゴールデンマネパタイム(17:00~26:00以下同じ)の**スプレッド縮小時間を大幅に拡大し**、業界最狭水準スプレッド「米ドル/円」**0.2銭**を計**16時間**、「メキシコペソ/円」**0.1銭**を計**12時間**提示するキャンペーンを開始
- ◆ **ゴールデンマネパタイム**の時間にて、豪ドル/円スプレッド**0.3銭**を含めた主要**17通貨ペア**で業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施
- ◆ 「米ドル/円」、「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」、「トルコリラ/米ドル」で取引日数に応じてキャッシュバックを増額する**継続特典**を追加した**キャッシュバックキャンペーン**を実施

## IV- a 2023年3月期 Q2のマネパ

### パートナーズFX nano

- ◆ **FX業界初** となる「米ドル／円」、「ユーロ／円」、「豪ドル／円」、「ポンド／円」、「メキシコペソ／円」の人気**5通貨ペア**にて当社所定の注文数量まで**0.0銭** (売買同値)の原則**24時間**提示を継続
- ◆ 1回当たりの取引数量**20万通貨**までのお取引において**ゴールデンマネパタイム**の時間にて「米ドル／円」スプレッド**0.1銭**を含めた主要**18通貨ペア**で業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施

### まいにち金・銀 (CFD-Metals)<sup>※</sup>

- ◆ **ゴールデンマネパタイム**の時間にて金／米ドル、銀／米ドルの業界最狭水準スプレッド**0.2pips**を提示
- ◆ パートナーズFXと同様に、金／米ドル、銀／米ドルにて継続特典を追加したキャッシュバックキャンペーンを実施

※ 2022年6月末よりCFD-Metals(商品CFD)を愛称として「まいにち金・銀」と呼称しております。

『米ドル／円』スプレッド**0.2銭**、『メキシコペソ／円』スプレッド**0.1銭**を**最大16時間**  
業界最狭水準スプレッドを提示

パートナーズFXでは、9月14日(メキシコペソ／円は9月12日から)より米ドル／円、メキシコペソ／円  
の**2通貨ペア**にて、**業界最狭水準スプレッド**の提示時間を大幅に拡大するキャンペーンを開始しました。

米ドル／円 スプレッド**0.2銭**を10:00～26:00の**計16時間**、メキシコペソ／円スプレッド**0.1銭**  
を14:00～26:00の間の**計12時間**提示しました。

**PFX ゴールデンマネタイム**

**← 大幅拡大! →**

期間	時間	通貨ペア	スプレッド
9/14-10/31	10:00~26:00	米ドル/円	0.2 銭
9/12-10/31	14:00~26:00	メキシコペソ/円	0.1 銭

※9/26-9/30除く 原則固定 (例外あり)

原則固定 (例外あり)

第1位  
FX会社別取引ランキング  
MINKABU  
2022  
スプレッド部門

## FX業界初『米ドル/円』、『ユーロ/円』、『豪ドル/円』、『ポンド/円』、『メキシコペソ/円』の人気5通貨ペアにて**0.0銭**(売買同値)を原則24時間 提示

パートナーズFX nanoでは、**FX業界初**の試みとして「米ドル/円」をはじめとする「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の**5通貨ペア**にて原則**24時間 0.0銭**(売買同値)を提示するキャンペーンを実施しております。

「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」は1回あたりのお取引数量1万通貨まで、「ポンド/円」は5,000通貨まで、「メキシコペソ/円」は3万通貨までが本キャンペーンの対象となっております。

The banner features the nano logo in the top left corner. The main title reads "スプレッド縮小キャンペーン 5月16日~10月31日" (Spread Reduction Campaign May 16 - October 31). Below this, a list of five currency pairs is shown with their respective flags and trading limits: 米ドル/円 (1万通貨まで), ユーロ/円 (1万通貨まで), 豪ドル/円 (1万通貨まで), ポンド/円 (5,000通貨まで), and メキシコペソ/円 (3万通貨まで). The central focus is the text "人気5通貨ペア24時間 業界最狭スプレッド" (Popular 5 currency pairs 24 hours industry's narrowest spread) above a large "0.0 銭" (0.0 yen) graphic. A note on the right says "原則固定 (例外あり)" (Fixed principle (exceptions apply)). At the bottom, a disclaimer states "※記載の数量を超えるご注文は適用時間・スプレッドが異なります" (Orders exceeding the listed quantity may have different applicable times and spreads).





## IV- b 2023年3月期 Q3からのマネパ

### パートナーズFX nano

- ◆ **FX業界初** 米ドル／円、ユーロ／円、豪ドル／円、ポンド／円、メキシコペソ／円の人気**5通貨ペア**にて  
当社所定の注文数量まで**0.0銭** (売買同値)の原則**24時間**提示を継続中
- ◆ 1回当たりの取引数量**20万通貨**までのお取引において**ゴールデンマネパタイム**(17:00~26:00以降同じ)の  
時間にて米ドル／円スプレッド**0.1銭**を含めた主要**19通貨ペア**で業界最狭水準スプレッドを提示する  
スプレッド縮小キャンペーンを実施中

### パートナーズFX

- ◆ 業界最狭水準スプレッド「米ドル／円」**0.2銭**を計**16時間**、「メキシコペソ／円」**0.1銭**を計**12時間**  
提示するキャンペーンを開始
- ◆ **ゴールデンマネパタイム**の時間にて、豪ドル／円スプレッド**0.3銭**を含めた主要**18通貨ペア**で  
業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施中
- ◆ 米ドル／円、トルコリラ／円、メキシコペソ／円、南アランド／円、トルコリラ／米ドルで取引日数に応じて  
キャッシュバックを増額する**継続特典**を追加した**キャッシュバック**キャンペーンを実施



## IV- b 2023年3月期 Q3からのマネパ

### まいにち金・銀 (CFD-Metals)※

- ◆ ゴールデンマネパタイムの時間にて金/米ドル、銀/米ドルの業界最狭水準スプレッド  
0.2pipsを提示中
- ◆ パートナーズFXと同様に、金/米ドル、銀/米ドルにて継続特典を追加したキャッシュバックキャンペーンを実施

### 共 通

- ◆ 10月24日より、「人民元/円」「米ドル/人民元(パートナーズFXのみでのお取扱)」「イスラエルシェケル/円」「ノルウェークローネ/円」の計4通貨ペアの取扱を開始
- ◆ 新通貨ペアリリースを記念したギフトキャンペーンを実施中
- ◆ 「人民元/円」にて業界最高水準のスワップを提示中
- ◆ 10月5日に著名な講師を招いたセミナー動画を公開。公開から3週間で12,000再生を突破

※ 2022年6月末よりCFD-Metals(商品CFD)を愛称として「まいにち金・銀」と呼称しております。



ゴールデンマネパタイム(17:00~26:00)の時間にて

パートナーズFX nano ・パートナーズFX ・まいにち金・銀(CFD-Metals)では  
業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施

2022年3月10日より流動性が高く取引量の多い17:00~26:00の間をゴールデンマネパタイムとし、業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを継続実施しております。

現在 **パートナーズFX nano**では新通貨ペアを含み米ドル/円をはじめとする**計19通貨ペア**、さらに**パートナーズFX**では新通貨ペアを含み豪ドル/円をはじめとする**計18通貨ペア**、**まいにち金・銀(CFD-Metals)**では**計2銘柄**を対象とした**業界最狭水準スプレッド**を提示するスプレッド縮小キャンペーンを継続中です。

**nano** 17:00~26:00は業界最狭水準スプレッド

MINKABU 2022 スプレッド部門 **第1位**

ご愛顧に感謝を込めて  
**ゴールデンマネパタイム**

**全19通貨ペアで実施中!!**

7月18日~11月30日 原則固定(例外あり)

豪ドル/円 <b>0.2</b> 銭	ユーロ/円 <b>0.2</b> 銭	ユーロ/米ドル <b>0.2</b> pips	ポンド/米ドル <b>0.5</b> pips
NEW 10/24-11/11 人民元/円 <b>0.5</b> 銭	NEW 10/24-11/11 ノルウェークロネ/円 <b>1.5</b> 銭	9/12-11/30 トルコリラ/円 17:00-21:00 <b>0.8</b> 銭 21:00-26:00 <b>1.5</b> 銭 <small>3万種のお取引に適用</small>	メキシコペソ/円 <b>0.1</b> 銭
米ドル/円 <b>0.1</b> 銭 7/18-11/30 ※9/26-9/30除く	南アランド/円 <b>0.2</b> 銭	豪ドル/米ドル ユーロ/豪ドル NZドル/米ドル NZドル/円 カナダドル/円 ポンド/豪ドル ユーロ/ポンド 豪ドル/NZドル	スイスフラン/円 豪ドル/NZドル NZドル/豪ドル 豪ドル/カナダドル

**PFX** 17:00~26:00は業界最狭水準スプレッド

MINKABU 2022 スプレッド部門 **第1位**

ご愛顧に感謝を込めて  
**ゴールデンマネパタイム**

**全18通貨ペアで実施中!!**

7月18日~11月30日 原則固定(例外あり)

ユーロ/円 <b>0.3</b> 銭	ユーロ/米ドル <b>0.2</b> pips	ポンド/米ドル <b>0.6</b> pips	南アランド/円 <b>0.3</b> 銭
NEW 10/24-11/11 人民元/円 <b>0.5</b> 銭	NEW 10/24-11/11 ノルウェークロネ/円 <b>1.6</b> 銭	9/12-11/30 トルコリラ/円 17:00-21:00 <b>0.8</b> 銭 21:00-26:00 <b>1.5</b> 銭	豪ドル/円 <b>0.3</b> 銭
NZドル/円 <b>0.7</b> 銭	豪ドル/米ドル ポンド/豪ドル ユーロ/豪ドル	カナダドル/円 スイスフラン/円 豪ドル/NZドル NZドル/豪ドル 豪ドル/カナダドル	

# マネーパートナーズにて新通貨ペア4つを追加

10月24日より、マネーパートナーズでは新たに**4通貨ペア**の取扱を開始しました。

対象となるのは、近年**国際通貨**としての注目の高まっている『**人民元／円**』、『**米ドル／人民元**(パートナーズFXのみでのお取扱)』のほか、『**イスラエルシェケル／円**』、『**ノルウェークローネ／円**』となります。

中でも『**イスラエルシェケル／円**』の取扱を行っているFX業者は**日本国内においてマネーパートナーズのみ**となっております。(注記)一般社団法人金融先物取引業協会 2022年6月末時点会員 137社、特別参加者 4社を調査

併せて、10月24日より**パートナーズFX・パートナーズFX nano**にてゴールデンマネパタイム(17:00~26:00)のお時間に行っております**スプレッド縮小キャンペーン**の対象通貨に、新通貨ペアである『**人民元／円**』及び『**ノルウェークローネ／円**』を追加し**業界最狭水準スプレッド**を提示するキャンペーンを開始しております。

ご参考までに新通貨ペアの**スワップ**をご紹介しますと、「**人民元／円**」は**30円**の**業界最高水準のスワップ**を付与しております。※

※2022年10月24日~31日の1万通貨あたりの買スワップポイント付与合計額を6営業日で割った金額(小数点以下切り捨て)です。スワップポイントは金利情勢等により、日々変動いたします。文中の金額は2022年10月24日~31日の実績であり、今後同様のスワップポイントが発生する事を保証するものではありません。

10月24日より取り扱い開始!  
新たに**4通貨ペア**を追加!

日本唯一!※

- 人民元/円
- 米ドル/人民元
- イスラエルシェケル/円
- ノルウェークローネ/円

※一般社団法人金融先物取引業協会 2022年6月末時点会員 137社、特別参加者 4社を調査

PFX nano 新通貨ペアリリース記念 10月24日-11月11日  
業界最狭水準スプレッドをご提供!

- 人民元/円 17:00~26:00 原則固定(例外あり)
- ノルウェークローネ/円 17:00~26:00 原則固定(例外あり)

PFX nano **0.5** 銭

PFX nano **1.6** 銭

PFX nano **1.5** 銭



# 新通貨ペアリリース記念キャンペーン実施

前述のキャンペーンに加えて、マネーパートナーズではより多くのお客様にお取引を頂くために、新通貨ペアリリース記念として2つのキャンペーンを実施しております。

1つ目は、10月24日より毎週行うプレゼントキャンペーンです。パートナーズFXまたはパートナーズFX nanoにて新通貨ペアを新規／決済のいずれか1回以上お取引をいただくことで、ギフト券を始めとする様々な商品をプレゼント致します。

2つ目は、パートナーズFXまたはパートナーズFX nanoにて当社所定の期間中にお取引いただいた新通貨ペアの新規取引の合計額に応じて、新通貨ペアの各国にちなんだグルメや特産品をプレゼントするキャンペーンです。



**新通貨ペアリリース記念キャンペーン ①**

- 🇺🇸🇨🇳 人民元/円
- 🇺🇸🇨🇳 米ドル/人民元
- 🇮🇸🇨🇳 イスラエルシケル/円
- 🇳🇴🇨🇳 ノルウェークローネ/円

のお取引で  
もれなくもらえます！

10/24より全10回開催！  
**毎週 & 全員もらえる！**

PFXまたはnanoにて、新規/決済いずれか1回以上のお取引でもれなくプレゼント！

10/24 - 10/28	10/31 - 11/4	11/7 - 11/11
 <p>Coke ON ドリンクチケット (お好きなコカ・コーラ社製品1本)</p>	 <p>Ticket 200 yen Baskin Robbins サーティワン アイスクリーム 200円ギフト券</p>	 <p>COMING SOON!</p>



**新通貨ペアリリース記念キャンペーン ②**

- 🇺🇸🇨🇳 人民元/円
- 🇺🇸🇨🇳 米ドル/人民元
- 🇮🇸🇨🇳 イスラエルシケル/円
- 🇳🇴🇨🇳 ノルウェークローネ/円

のお取引で  
もれなくもらえます！

**必ずもらえる & チャンスは2回!**

PFXまたはnanoにて、各期間中の新規取引の合計額に応じてもれなくプレゼント!

1st CHANCE 10/24 ~11/30	2nd CHANCE 12/1 ~12/30
-------------------------------	------------------------------

750万通貨	1,500万通貨	3,000万通貨
 <p>日本橋 小洞天 焼売詰合せ</p>	 <p>王子サーモン 選べるギフト券E6</p>	 <p>ソーダストリーム TERRA (テラ) スターターキット (ブラック)</p>

**5,000万通貨以上のお取引で3点全てプレゼント!**

# V. 參考資料



## グループ概要

社名	株式会社マネーパートナーズグループ
代表取締役社長	福島 秀治
設立日	2005年 6月10日
資本金	20億円
純資産(連結)	133億円 (2022年 9月末現在)
発行済株式総数	33,801,900株
連結子会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ

# 月次連結業績指標推移

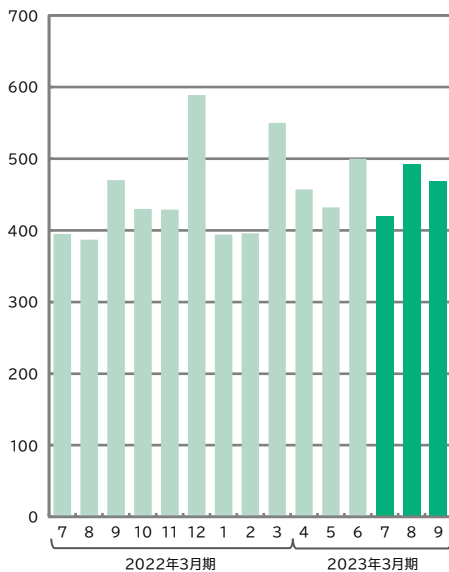
## ■ 月次連結営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2022年3月期						2023年3月期						2023年3月期		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	395	387	470	430	429	589	394	396	550	457	432	500	420	493	468
外国為替取引高 (百万通貨単位)	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574
顧客口座数(口座)	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153
顧客預り証拠金(百万円)	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842

(注) 1. 「外国為替取引高」及び「顧客預り証拠金」には2011年8月より開始したCFD-Metals(差金決済取引)に関する数値を含めております。  
 2. 2022年3月より、暗号資産CFD取引(差金決済取引)における預り証拠金及び取引高(売買代金を米ドルに換算)はそれぞれ「顧客預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

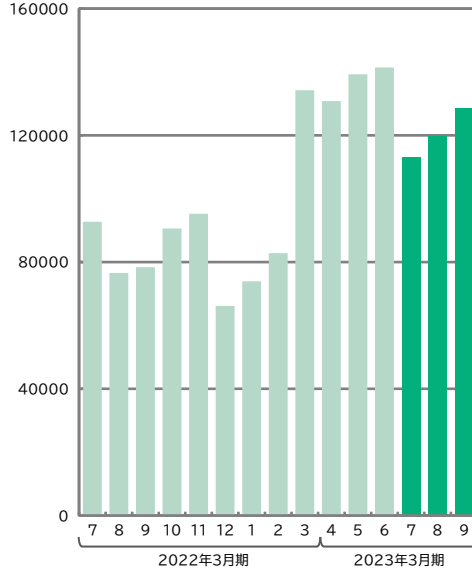
【営業収益】

(単位:百万円)



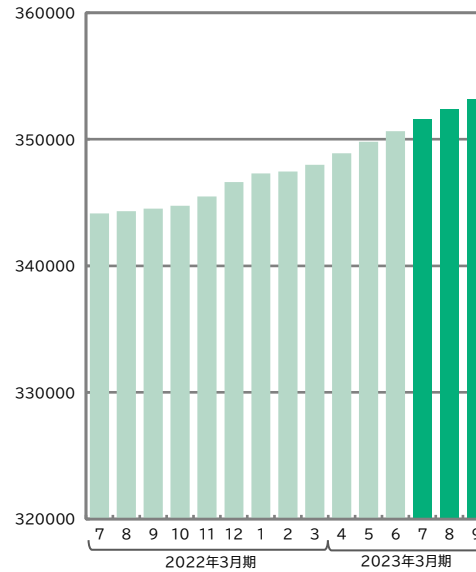
【外国為替取引高】

(単位:百万通貨単位)



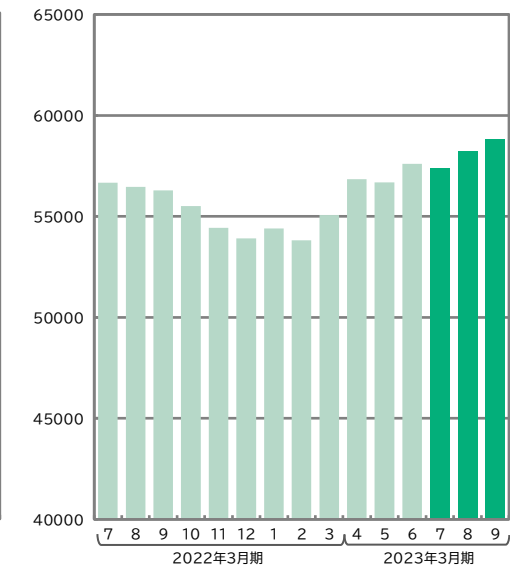
【顧客口座数】

(単位:口座)



【顧客預り証拠金】

(単位:百万円)





## FX取引(外国為替証拠金取引)、商品CFD取引、証券取引、および暗号資産CFD取引(暗号資産関連店頭デリバティブ取引)に関するご注意

### 【パートナーズFxおよびパートナーズFxnano】

パートナーズFxおよびパートナーズFxnanoは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。パートナーズFxおよびパートナーズFxnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの建玉必要証拠金金額は原則、一般社団法人金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第31項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。取引手数料は無料です。なお、外貨両替については1通貨あたり0.20円、受渡取引については1通貨あたり0.10円の手数料をいただきます。

### 【CFD-Metals】

CFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

### 【証券】

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。有価証券のお預りが無く、一定期間証券口座のご利用が無い場合等は、別紙①「手数料等のご案内」に記載の証券口座維持管理手数料1,100円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

### 【暗号資産CFD】

暗号資産は法定通貨(本邦通貨又は外国通貨)ではなく、特定の者によりその価値を保証されているものではありません。暗号資産は、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り代価の弁済に使用することができます。暗号資産CFDは、取引時の価格の変動により、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。暗号資産CFDの取引に必要な証拠金は、取引の額の50%以上の額で、証拠金の約2倍までの取引が可能です。取引にあたり、営業日をまたいで建玉を保有した場合にはレバレッジ手数料が発生します。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会 一般社団法人日本暗号資産取引業協会

株式会社マネーパートナーズグループ

東京証券取引所：プライム市場

証券コード：8732

---

2023年3月期第2四半期

# 決算説明資料

---

2022年11月4日